

令和4年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要  
林産部門

斬新な発想による技術開発と安定供給システム構築による苗木生産

○氏名又は名称 長倉 良守

○所在地 宮崎県宮崎市

○出品財 技術・ほ場（苗ほ）

○受賞理由

・地域の概要

宮崎市は、宮崎県の南東部に位置している。日照時間に恵まれ温暖で湿潤な気候を有し、露地畑作に適した土壌条件で県内でも有数のスギ挿し木苗の生産地である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

平成10年に父から家業の苗畑等を継承し、その後平成21年に（株）長倉樹苗園を設立した。現在、林業種苗用苗畑3.5ha、コンテナ苗生産用ハウス5棟4,900㎡において、挿し木により林業用苗木生産を行っている。令和3年度は裸苗65万本、コンテナ苗16万本、紙製ポット苗5万本のスギの林業用苗木を生産し、県内スギ苗木需要550万本の16%を占める中核的な生産者となっている。

・受賞者の特色

（1）安定した苗木供給のための生産体制と地域連携の構築

穂木については、自己調達以外に森林組合等と連携して品種の明確な穂木を大量に調達する仕組みを作り、毎年100万本程度の安定した挿し付けを行なうとともに、夏場の冷蔵貯蔵技術や培土を使わず穂木を発根させる技術「空中挿し木法」を取り入れ、年間を通したコンテナ用穂木の挿し付けを行っている。また、発根した穂木を他の生産者に供給する協同組合の設立にも尽力した。

（2）斬新な技術開発による苗木生産の向上と労働力の確保

出荷規格外の裸苗を紙製ポットで育成することで、90%という高い得苗率を確保し無駄なく生産するとともに、コンテナ苗の通年の挿し付けによる労働力の分散や背負い式コンテナ苗用植栽機の実用化への共同開発など、様々な新しい技術によって、安定的な雇用の創出や収益性の向上を実現している。また、現在、13人の労働者のうち7人が女性、6人が障がい者であり、障がい者については主にコンテナ苗の穂木の調整や挿し付けを行い、健常者はこれらに加え、苗畑での作業全般から出荷作業まで広く携わっている。

・普及性と今後の発展方向

新規参入者への技術指導などにも取り組み、自身の技術を広く普及していることから県内の苗木生産者のリーダー的な存在となっている。現在は樹苗農業協同組合の田野支部長や監事の役職、宮崎県行政に関する研修会講師や協議会委員に就任し貢献している。また、技術開発では形状比が小さくしっかりしたコンテナ苗の育成に挑戦を続けており、今後も斬新な発想による新たな技術開発が期待される。